

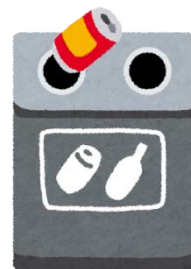
道徳だより「清明（せいめい）」 第4号

令和7年10月3日発行
美川中学校道徳係

先日、教員の道徳の授業力向上に向けて、1年1組とあんず2で研究授業を行いました。その後は授業整理会も行い、よりよい授業を目指して教員同士で話し合いました。今回はその時の授業の様子をお伝えします。

○ あんず2の研究授業（授業者：北室先生）

＜内容項目＞ C 遵法精神、公德心



＜教材名＞ 「ごみ箱をもっと増やして」（新編新しい道徳 1年）

＜あらすじ＞

「街の中にゴミ箱を増やして欲しい」という新聞に掲載された大学生の投書に対し、寄せられた賛成、反対の双方の意見を読んで、自分はどちらの意見に近いかを考え、その理由とともに話し合う。

＜発問＞

- 1 「『だれもが気持ちよく過ごせる社会にするにはどうしたらよいのか』について考えよう。」
- 2 「あなたはゴミ箱を増やすことに賛成か、反対か。その理由も含めて考えてみよう。」
- 3 「『ゴミ箱がなくても美しい環境』と『ゴミ箱があっても美しい環境』、どちらの社会の方がみんなが気持ちよく過ごせる社会になると思うか。」

＜授業の様子＞



＜生徒の発言・感想より＞

- ・ゴミ箱がないとポイ捨てなどが増えてしまうので、ゴミ箱をもっと増やして行きたいと思った。
- ・ゴミ箱が増えてしまうことは、美しい環境を作ることに繋がらないのではないか。

○ 1年1組の研究授業（授業者：堀川先生）

＜内容項目＞

B 他の人とのかかわり 思いやり



＜教材名＞ 「見えない親切」（新編新しい道徳 1年）

＜あらすじ＞

美里は、バスで自分の席の前に立ったおばあさんに、「おばあさん、どうぞ!」と言って迷わず席をゆずり、うれしい気分になる。次の週、美里は父とバスに乗っているときに、茶髪でピアスをした若者が優先席に座り、その前におばあさんが立っているのを見つける。

美里が「お父さん、あの人のことどう思う?」と小声で言ったとき、若者はだまって席を立ち、さらにとなりになり立っていたおじいさんを支えた。

父は美里に、彼がしているのは「見えない親切」だと告げる。

- ＜発問＞
- 1 「美里と男の人はどちらが親切だと思いますか」
 - 2 「自分だったら、どちらの親切をしますか」
 - 3 「『本当の思いやり』について考えたことは」

＜授業の様子＞



＜生徒のワークシートより＞

- ・「本当の思いやり」は相手が一番気持ちよく思いやりを受けられることだと思う。思いやりは自分より相手を意識することが大切だと思う。
- ・相手も周りもあたたかい気持ちになれることが「本当の思いやり」だと思った。これからの私はその状況、相手の気持ちを考えて見える親切と見えない親切を使い分けようと思った。
- ・「本当の思いやり」は結果的に相手がよろこぶことだと思う。自分にはまだ出来ていないけど周りの目ばかり気にしてたら当人への気遣いがあまりできないので、これからはこの若い男の人のようにしていきたい。
- ・その人のために何かをしたのなら、周りの評価のためでも心から心配していたとしてもすべて同じく思いやりだと思う。
- ・これからは、相手も自分もいい思いができて、感謝しあえるような思いやりができるようにしたいと思いました。